

リハビリ通信

認知症の方へのコミュニケーション

認知症の方とのコミュニケーションでは、「できないこと」に目を向けるのではなく、「**安心して過ごせる関わり**」がとても大切です。当施設では、お一人おひとりの状態に合わせて、**その方らしさ**を大切にしながらコミュニケーションを行っています。「話す」「聞く」「表情を読み取る」などを通して、安心感や意欲につながる支援を心がけています。



○安心できる声かけ



相手の目線に合わせ、笑顔でゆっくり話しかけます。一度にたくさん伝えるのではなく、短く分かりやすい言葉でお話することで、不安を軽減し安心して会話できます。

○気持ちに寄り添うコミュニケーション



間違いを指摘するよりも、「そうなんですわ」「教えてください」と気持ちを受け止めることを大切にしています。**共感すること**で安心感が生まれ、穏やかな時間につながります。

○できることを一緒に



認知症があっても、**できることはたくさんあります**。洗濯物をたたむ、季節の飾り作りや塗り絵など、その方の得意なことや役割を大切に、自信や笑顔につながる支援を行っています。

ご家族の皆さまへ



認知症の方は、不安や戸惑いを感じやすくなっています。「否定しない」「急がせない」「笑顔で寄り添う」ことが、安心につながる第一歩です。気になることやご相談がありましたら、いつでもお気軽に職員へお声掛けください。

認知症の方にとって、安心できるコミュニケーションは何よりの支えです。アメリカは一人ひとりに寄り添った支援を続けていきます。